

平成24年度
(2012年度)

港区予算概要

一般会計
国民健康保険事業会計
後期高齢者医療会計
介護保険会計

港区

<新規・臨時・レベルアップの説明>

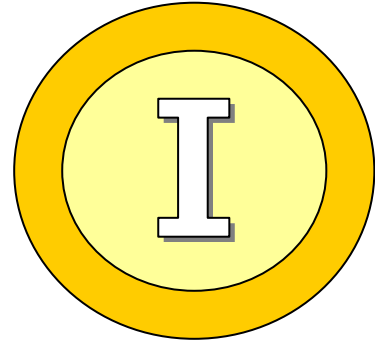
新規	平成 24 年度から新たに行う事業
臨時・新規	平成 24 年度から新たに行う臨時的な事業(※ 1)
臨時・継続	平成 23 年度以前から行っている臨時的な事業(※ 1)
	(※ 1)単年度又は数年度に限り臨時的に行う事業
レベルアップ	平成 23 年度以前から行っている事業で内容を充実・拡大する事業(※ 2)
	(※ 2) 「Ⅰ-2 重点施策の取組」(P. 5～8) 及び「Ⅳ-2 所管部署別新規・臨時・レベルアップ事業一覧」(P. 66～71) に記載のレベルアップ事業の所管課名及び予算額は、レベルアップ部分を含めた事業全体の予算額となります。また、「Ⅲ-重点施策」(P. 24～55) に記載してあるレベルアップ事業の所管課名、予算額及び財源内訳は、レベルアップ部分を含めた事業全体のものを記載しています。

計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計などと一致しない場合があります。

目 次

I	平成 24 年度予算の概要	1
1	平成 24 年度予算の概要（全体像）	2
2	重点施策の取組	4
3	港区基本計画事業の着実な推進	9
4	将来を見据えた財政運営	10
	（1）区財政の状況	10
	（2）財政計画の策定	12
	（3）基金の有効活用	13
II	財政規模	15
1	総 括	16
2	一般会計	17
	（1）歳 入	17
	（2）目的別歳出	18
	（3）性質別歳出	19
3	国民健康保険事業会計	20
4	後期高齢者医療会計	21
5	介護保険会計	22
III	重点施策	23
1	災害に強く環境にやさしいまち	24
	（1）災害に強いまちを実現する総合的な防災対策の推進	24
	（2）安全で快適な都市生活の実現	29
	（3）港区から発信する環境都心づくり	31
2	将来に夢と希望を持って暮らせるまち	34
	（1）健やかな子どもの「育ち」を支える環境の整備	34
	（2）誰もが安心できる生活の実現	38
	（3）子どもの個性や創造力を伸ばす教育の推進	41
3	地域の活力があふれるまち	43
	（1）活力に満ちた地域経済の推進	43
	（2）地域のつながりを大切にする施策の推進	47

(3) 文化・スポーツに親しむ環境の創出	53
(4) 区民参画を推進する環境の整備	54
IV 参考資料	57
1 港区防災対策基本条例を踏まえた事業一覧	58
2 所管部署別新規・臨時・レベルアップ事業一覧	66
3 新規補助金一覧	72
4 平成 24 年度開設予定施設一覧	73
5 平成 24 年度予算編成方針	74
6 港区防災対策基本条例	76



平成 24 年 度
予 算 の 概 要

1 平成24年度予算の概要(全体像)

「東日本大震災を教訓として、災害に強いまちと安全・安心な区民生活を実現するための予算」

予算編成の基本方針

- 東日本大震災を踏まえ災害対策等の充実・強化をはじめ、区民の安全・安心を確保する様々な施策を、最優先課題とし、予算化していきます。
- 平成20年6月の区長施政方針に掲げた区政運営に関する基本方針、区民とともにめざす6つのまちの姿と区政改革の方向性を踏まえた施策を確実に実施するとともに、その総仕上げに向け、予算化していきます。
- 港区基本計画（後期3年）見直し方針との整合を十分図るとともに、計上する事業は着実に推進できるように予算化していきます。
- 区民の参画と協働の積極的な取組により、各種事業が、区民一人ひとりのライフステージに応じたきめ細かなサービスとなるよう、区民生活の実情を的確に把握し、区民の視点に立って創意工夫を図っていくことで、区民生活のすみずみまで目の行き届いた、港区ならではの質の高い行政サービスを提供していきます。
- 限られた財源を重点施策へ集中的に配分するため、新規及びレベルアップ事業については、スクラップ・アンド・ビルドの原則を一層徹底し、事業の必要性・効果性・効果性を見極めた上で予算化していきます。また、本年5月に、区民の安全・安心の更なる確保を目的に全ての事務事業について行った、「事務事業の見直し調査結果」を踏まえ、事業の統合や事業手法の見直しを確実に行うとともに、既存事業の再構築を進め、より優先度・重要度の高い事業を重点的に予算化していきます。
- 今後のいかなる社会経済情勢の変化にも柔軟に対応し、港区ならではの施策を将来にわたって安定的に推進していくため、「最少の経費で最大の効果」の基本原則を踏まえ、後年度負担にも十分配慮するとともに、人件費の圧縮、経常的経費の節減などの不断の内部努力を徹底していきます。

港区基本計画事業の着実な推進

分野別計画	内容	事業数	総額
地区版計画	◇かがやくまち（街づくり・環境）	46事業	43億 4,811万円
	◇にぎわうまち（コミュニティ・産業）	11事業	23億 1,057万円
	◇はぐくむまち（福祉・保健・教育）	35事業	79億 7,548万円
	芝地区版計画書	12事業	3,303万円
地区版計画	麻布地区版計画書	12事業	3,821万円
	赤坂地区版計画書	9事業	3,667万円
	高輪地区版計画書	12事業	4,476万円
	芝浦港南地区版計画書	13事業	4,302万円
◇実現をめざして		2事業	2億 618万円
計		152事業	150億 3,601万円

将来を見据えた財政運営

歳入の根幹を成す特別区民税収入は、長引く景気低迷の影響を受け、人口の増加にもかかわらず平成21年度から減収傾向となり、24年度予算においても、23年度予算と比較して約20億円の減収を見込んでおり、4年連続の減収という大変厳しい状況となっています。東日本大震災や欧州の政府債務危機などの影響により、景気の先行きが依然として不透明であることから、特別区民税収入は今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

現在の区財政の状況は、経常収支比率をはじめ、財政健全化に基づく健全化判断比率など各財政指標が良好な数値を示しており、健全な状況を維持していますが、22年度の経常収支比率は、特別区民税収入の大幅な減収や生活保護費の増加等に伴い、21年度と比較して8.8ポイントも悪化しており、今後、安定的な財政運営を行うに当たっては、より一層行政改革に取り組み、必要が求められます。

このような状況においても、区は、東日本大震災の教訓を踏まえ、区民の生命と財産を守るため、計画的に積み立ててきた基金を効果的に活用して、区民の安全・安心の確保を最優先事項とし、災害対策の充実・強化などの新たな行政需要に積極的に取り組むとともに、港区基本計画事業を着実に推進し、新たに策定した港区財政運営方針のもと、新規及びレベルアップ事業については、必要性・効果性・効果性を十分に見極めた上で予算化するとともに、既存事業についても、事業の統合等により再構築を進めました。また、人件費の圧縮や経常的経費の節減等に積極的に取り組むなど、内部努力を徹底した予算として編成しました。

今後も、港区財政運営方針に掲げている3つの基本方針のもと、「次世代に過度な負担を残さない取組」、「自主財源の積極的な確保」、「効率的・効果的な予算編成手法の確立」、「不断の内部努力の徹底」、「区財政に関する情報の提供と活用」の5つの具体的な取り組みを実施し、区民の誰もが将来にわたって安心してできる財政運営を行い、磐石な財政基盤を確立していきます。

総額
1,422億
2,709万円

一般会計
1,035億
5,000万円

新規事業数 31

臨時事業数 87
(うち新規) 35
(うち継続) 52

レベルアップ事業数 18

地域事業数 19
(うち新規) 19

国民健康保険事業会計
212億3,471万円

後期高齢者医療会計
44億4,402万円

介護保険会計
129億9,836万円

重点施策

主な重点施策の事業

1 災害に強く環境にやさしいまち

(1) 災害に強いまちを実現する総合的な防災対策の推進

- ※防災街づくり整備指針改定 ※地域防災計画修正 ※災害対策本部・各地区本部機能の強化
- ※災害対応マニュアルの改定 ※タム橋架替 ※シティハイツ建替（芝浦・六本木）
- ※スポーツセンター耐震補強等 ※マンホールトイレ整備
- ※建築物耐震改修等促進事業 ※建築物建替等促進事業
- ※緊急連絡体制等の整備（児童施設・幼稚園・小中学校・放課G O→）
- ※区有施設の防災対策の充実
- ※防災用品あわせん事業（ひとり暮らし高齢者等・障害者・妊産婦）
- ※帰宅困難者対策 ※各地区防災マップ作成 ※放射能・放射線対策
- ※（仮称）三河台公園自転車駐車場整備 ※建築物の高さに関する指針策定
- ※東日本大震災避難者・被災者の臨時職員雇用 ※職員の防災士資格取得の推進

(2) 安全で快適な都市生活の実現

- ※都市計画公園整備 ※土地利用現況調査 ※アジアヘッドクォーター特区構想等の対応
- ※環状2号線周辺地区のまちづくり ※田町駅西口・札の辻交差点周辺地区のまちづくり
- ※（仮称）三河台公園自転車駐車場整備 ※建築物の高さに関する指針策定
- ※田町駅東口北地区公共施設整備

(3) 港区から発信する環境都心づくり

- ※地球温暖化対策地域推進計画の改定 ※テナントの省エネ取組の推進
- ※環境影響評価（防風植栽の生育管理の検討）
- ※新エネルギー・省エネルギー機器等助成事業 ※家庭ごみ量の「見える化」事業
- ※特別保護樹木・樹木の指定 ※低炭素化推進（区有施設・教育施設）

5頁・24頁参照

2 将来に夢と希望を持って暮らせるまち

(1) 健やかな子どもの「育ち」を支える環境の整備

- ※芝公園保育園等改築 ※麻布保育園等建設
- ※（仮称）三田四丁目保育園建設 ※私立認可保育所設置支援事業
- ※緊急暫定保育施設 ※みなと保育サポート事業
- ※子ども中高生プラザ等建設（神明・麻布地区・港南） ※緊急暫定学童クラブ

(2) 子どもが安心できる生活の実現

- ※ひとり暮らし高齢者等見守り推進事業 ※ホームヘルプサービス等利用者負担助成
- ※重度障害児の日中一時支援事業 ※障害者虐待防止・養護者支援事業
- ※障害者総合相談支援センター事業 ※生活保護受給者等メンタルケア支援事業
- ※地域リハビリテーション推進事業
- ※新型インフルエンザ対策行動計画改定等
- ※（社福）恩賜財団母子愛育会附属愛育病院建設支援

(3) 子どもの個性や創造力を伸ばす教育の推進

- ※朝日中学校通学区域小中一貫教育校建設
- ※デジタル教科書本格導入 ※学校ICT環境整備 ※放課後児童育成

7頁・34頁参照

3 地域の活力があふれるまち

(1) 活気に満ちた地域経済の推進

- ※港区商品モニター調査支援事業 ※オーダーメイド経営強化支援事業
- ※融資事業 ※小規模事業者経営改善資金融資利子補助
- ※港区観光ボランティア活動支援事業 ※港区観光インフォメーションセンター運営
- ※中小企業リフレッシュ出前相談プロジェクト

(2) 地域のつながりを大切にする施策の推進

- ※各地区総合支所地域事業 ※台場の新規地域交通の運行
- ※旧飯倉小学校跡地活用施設整備 ※新橋六丁目公共施設建設

(3) 文化・スポーツに親しむ環境の創出

- ※文化芸術振興プラン策定 ※文化芸術のちから集中プログラム
- ※国際文化紹介事業 ※旧国立保健医療科学院整備活用
- ※新郷土資料館展示・運営等準備 ※麻布図書館等改築 ※国民体育大会の準備

(4) 区民参画を推進する環境の整備

- ※区民の声センター運営 ※区議会本会議等の生中継化

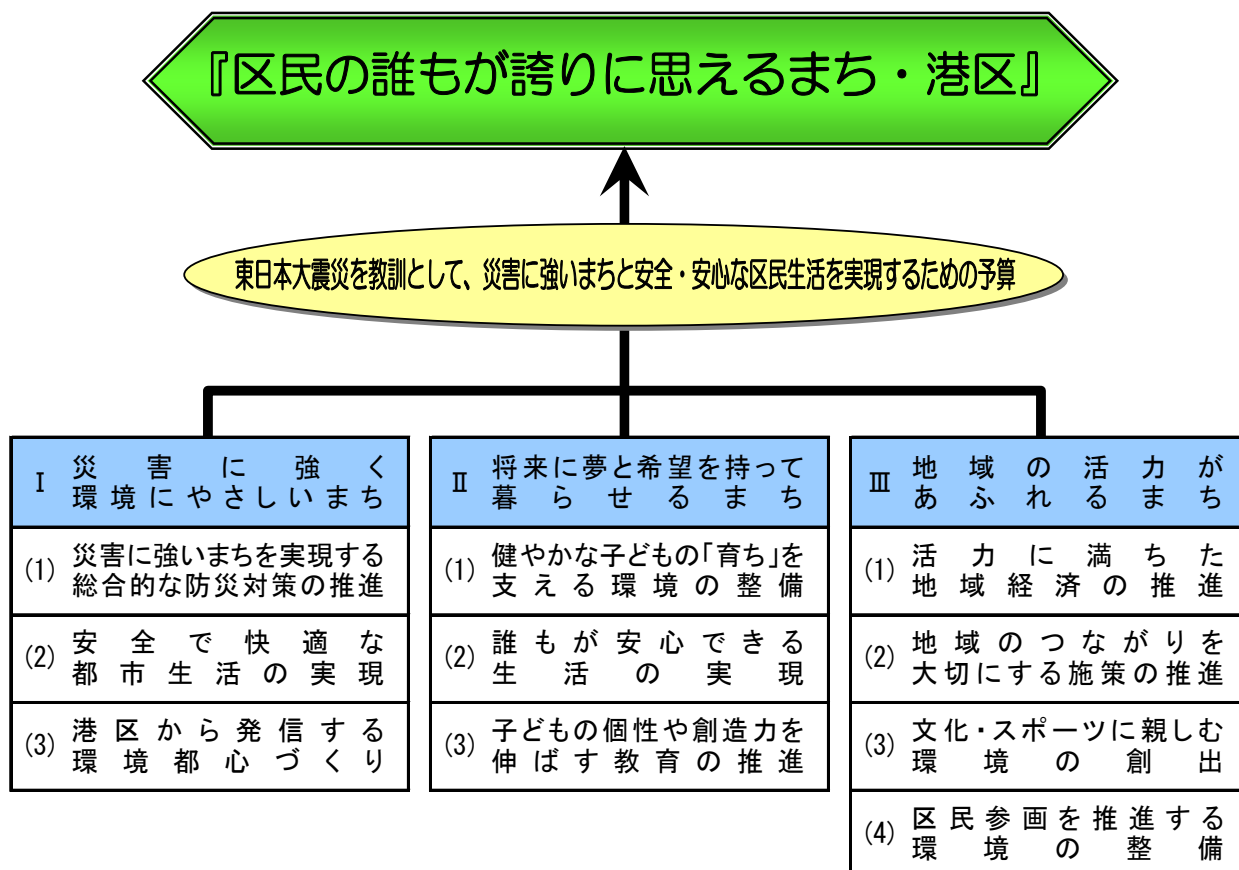
8頁・43頁参照

2 重点施策の取組

区は、『区民の誰もが誇りに思えるまち・港区』の実現を掲げ、区民に信頼され、区民の身近にあって、区民の誇りを創造する区政運営を基本姿勢とし、『人にやさしい創造的な地域社会』の実現を目指します。

平成24年度予算は、特別区民税収入の状況が、景気の先行きが依然不透明であることから、これまで以上に厳しい状況が続くことが予想される中、港区基本計画に計上した事業を着実に推進していきます。また、緊急不況対策や待機児童解消への積極的な対応、高齢者や障害者が安心して暮らせるための取組、地球温暖化防止のための先駆的施策、未来を担う子どもたちのための施設整備を進めてまいります。これらに加え、東日本大震災を踏まえ防災機能強化、節電の取組、放射能問題への対応など、区民の生命と財産を守るため安全・安心の確保を最優先事項とし、活力あるまちの実現を目指し、限られた財源を重点施策へ集中的に配分し、時機を逃さず積極、果敢に取り組むこととし、「東日本大震災を教訓として、災害に強いまちと安全・安心な区民生活を実現するための予算」として編成しました。

また、特に早急に取り組む必要がある施策として「災害に強く環境にやさしいまち」、「将来に夢と希望を持って暮らせるまち」、「地域の活力があふれるまち」の3つの施策を重点施策と位置づけ、121事業、220億1,722万2千円を計上しました。



I 災害に強く環境にやさしいまち

49事業 4,888,941千円

(1) 災害に強いまちを実現する総合的な防災対策の推進		27事業	2,170,113	P24 ～
ひとり暮らし高齢者等防災用品あつせん事業	[高齢者支援課]	【新規】	22,429	
障害者防災用品あつせん事業	[障害者福祉課]	【新規】	6,337	
妊産婦防災用品あつせん事業	[子ども家庭課]	【新規】	6,116	
緊急連絡体制等の整備	[子ども家庭課]	【新規】	1,533	
建築物建替等促進事業	[住宅担当]	【新規】	36,000	
職員の防災士資格取得の推進	[人事課]	【新規】	3,290	
緊急連絡体制等の整備	[生涯学習推進課]	【新規】	131	
各地区防災マップ作成	[各地区協働推進課]	【臨新】	20,204	
日射調整フィルムの導入	[麻布管理課ほか]	【臨新】	17,299	
AED設置施設データ作成	[生活衛生課]	【臨新】	6,090	
放射能・放射線対策	[防災課]	【臨新】	20,705	
地域防災計画修正	[防災課]	【臨新】	24,896	
災害対応マニュアルの改定	[防災課]	【臨新】	6,013	
災害対策本部・各地区本部機能の強化	[防災課]	【臨新】	221,289	
区有施設の防災対策の充実	[芝管理課ほか]	【臨新】	71,066	
災害時のボランティア受入支援	[防災課]	【臨新】	2,603	
東日本大震災避難者・被災者の臨時職員雇用	[人事課]	【臨新】	59,381	
スポーツセンター耐震補強等	[生涯学習推進課]	【臨新】	192,249	
防災街づくり整備指針改定	[都市計画課]	【臨継】	29,637	
シティハイツ芝浦建替	[住宅担当]	【臨継】	353,536	
シティハイツ六本木建替	[住宅担当]	【臨継】	83,263	
夕風橋架替	[土木課]	【臨継】	314,336	
マンホールトイレ整備	[防災課]	【臨継】	6,398	
帰宅困難者対策	[防災課]	【レベル】	38,675	
備蓄物資整備	[防災課]	【レベル】	126,994	
建築物耐震改修等促進事業	[住宅担当]	【レベル】	496,545	
緊急連絡体制等の整備	[学務課]	【レベル】	3,098	
(2) 安全で快適な都市生活の実現		12事業	2,531,284	P29 ～
(仮称)三河台公園自転車駐車場整備	[土木課]	【臨新】	200,038	
アジアヘッドクォーター特区構想等の対応	[企画課]	【臨新】	15,000	
田町駅西口・札の辻交差点周辺地区のまちづくり	[都市計画課]	【臨継】	8,092	
環状2号線周辺地区のまちづくり	[都市計画課]	【臨継】	10,659	
新橋駅周辺地区のまちづくり	[都市計画課]	【臨継】	6,720	
六本木・虎ノ門地区のまちづくり	[都市計画課]	【臨継】	499	
土地利用現況調査	[都市計画課]	【臨継】	12,443	
建築物の高さに関する指定方針策定	[都市計画課]	【臨継】	7,676	
まちづくり支援検討	[開発指導課]	【臨継】	2,846	
公園整備	[土木課]	【臨継】	238,919	
都市計画公園整備	[土木課]	【臨継】	753,700	
田町駅東口北地区公共公益施設整備	[芝浦港南地区施設整備担当]	【臨継】	1,274,692	

注) 臨新=臨時・新規、臨継=臨時・継続、レベル=レベルアップ

(3) 港区から発信する環境都心づくり		10事業	187,544	P31 ~
特別保護樹木・樹木の指定	[環境課]	【新規】	3,246	
家庭系ごみ量の「見える化」事業	[清掃リサイクル課]	【新規】	456	
テナントの省エネ取組の推進	[環境課]	【臨新】	37,365	
区有施設低炭素化推進	[環境課]	【臨新】	7,940	
環境影響評価(防風植栽の生育管理の検討)	[環境課]	【臨新】	5,780	
地球温暖化対策地域推進計画の改定	[環境課]	【臨新】	5,223	
港区生物多様性地域戦略策定	[環境課]	【臨新】	10,164	
教育施設低炭素化推進	[庶務課]	【臨新】	7,328	
環境にやさしい行動推進事業	[環境課]	【レベル】	4,796	
新エネルギー・省エネルギー機器等助成事業	[環境課]	【レベル】	105,246	

注) 臨新=臨時・新規、臨継=臨時・継続、レベル=レベルアップ

II 将来に夢と希望を持って暮らせるまち

38事業 13,867,733千円

(1) 健やかな子どもの「育ち」を支える環境の整備	16事業	11,512,711	
神明子ども中高生プラザ管理運営 [芝管理課]	【新規】	53,526	P34 ～
神明保育園管理運営 [芝管理課]	【新規】	163,393	
たかはま保育園管理運営 [芝浦港南管理課]	【新規】	90,182	
子どものための手当 [子ども家庭課]	【新規】	3,226,960	
みなと保育サポート事業 [子ども家庭課]	【新規】	42,286	
神明子ども中高生プラザ等建設 [芝管理課]	【臨継】	2,808,760	
芝公園保育園等改築 [芝管理課]	【臨継】	294,345	
麻布地区子ども中高生プラザ等建設 [麻布管理課]	【臨継】	189,267	
麻布保育園等建設 [麻布管理課]	【臨継】	327,450	
(仮称)三田四丁目保育園建設 [高輪管理課]	【臨継】	99,566	
港南子ども中高生プラザ等建設 [芝浦港南管理課]	【臨継】	2,246,212	
緊急暫定保育施設 [子ども家庭課]	【臨継】	1,788,578	
緊急暫定学童クラブ [子ども家庭課]	【臨継】	6,172	
私立認可保育所設置支援事業 [子ども家庭課]	【臨継】	123,164	
児童遊園整備 [土木課]	【臨継】	47,322	
子どもの遊び場づくり [土木課]	【臨継】	5,528	
(2) 誰もが安心できる生活の実現	17事業	1,667,421	
重度障害児の日中一時支援事業 [障害者福祉課]	【新規】	9,432	P38 ～
障害児通所支援事業 [障害者福祉課]	【新規】	101,878	
障害者虐待防止・養護者支援事業 [障害者福祉課]	【新規】	900	
障害者総合相談支援センター事業 [障害者福祉課]	【新規】	6,469	
生活保護受給者等メンタルケア支援事業 [生活福祉調整課]	【新規】	6,300	
地域リハビリテーション推進事業 [保健予防課]	【新規】	423	
新型インフルエンザ対策行動計画改定等 [生活衛生課]	【臨新】	509	
西麻布いきいきプラザ等改築 [麻布管理課]	【臨継】	493,566	
ひとり暮らし高齢者等熱中症予防用品配布事業 [高齢者支援課]	【臨継】	2,594	
(社福)恩賜財団母子愛育会附属愛育病院建設支援 [生活衛生課]	【臨継】	394,680	
バリアフリー化の計画的な推進 [土木課]	【臨継】	5,519	
芝地区いきいきプラザ(3館)管理運営 [芝管理課]	【レベル】	239,659	
コミュニティバス等福祉事業 [高齢者支援課]	【レベル】	126,631	
ひとり暮らし高齢者等見守り推進事業 [高齢者支援課]	【レベル】	71,676	
いきいきプラザ(16館)介護予防事業 [高齢者支援課]	【レベル】	112,065	
二次予防事業対象者把握事業 [高齢者支援課]	【レベル】	84,904	
ホームヘルプサービス等利用者負担助成 [介護保険担当]	【レベル】	10,216	
(3) 子どもの個性や創造力を伸ばす教育の推進	5事業	687,601	
朝日中学校通学区域小中一貫教育校建設 [庶務課]	【臨継】	467,342	P41 ～
新教育センター整備 [庶務課]	【臨継】	4,643	
学校ICT環境整備 [学務課]	【臨継】	23,656	
デジタル教科書本格導入 [指導室]	【臨継】	22,939	
放課後児童育成 [生涯学習推進課]	【レベル】	169,021	

注) 臨新=臨時・新規、臨継=臨時・継続、レベル=レベルアップ

Ⅲ 地域の活力があふれるまち

34事業 3,260,548千円

(1) 活力に満ちた地域経済の推進	13事業	2,237,299	
港区商品モニター調査支援事業 [産業振興課] 【新規】		5,618	P43 ～
オーダーメイド経営強化支援事業 [産業振興課] 【新規】		3,328	
小規模事業者経営改善資金融資利子補助 [産業振興課] 【新規】		3,301	
港区観光ボランティア活動支援事業 [産業振興課] 【新規】		4,000	
港区観光インフォメーションセンター運営 [産業振興課] 【臨新】		8,491	
水辺観光推進事業 [産業振興課] 【臨新】		700	
区内共通商品券発行支援 [産業振興課] 【臨継】		50,000	
商店街変身戦略プログラム [産業振興課] 【臨継】		5,500	
港区ものづくり・商業観光フェアの開催 [産業振興課] 【臨継】		27,954	
歴史観光資源の活用・促進 [産業振興課] 【臨継】		1,575	
新製品・新技術開発支援 [産業振興課] 【レベル】		15,737	
中小企業リフレッシュ出前相談プロジェクト [産業振興課] 【レベル】		12,514	
融資事業 [産業振興課] 【レベル】		2,098,581	
(2) 地域のつながりを大切にする施策の推進	11事業	776,204	
芝地区総合支所地域事業 [芝管理課、芝協働推進課、芝区民課]		33,025	P47 ～
麻布地区総合支所地域事業 [麻布管理課、麻布協働推進課、麻布区民課]		38,205	
赤坂地区総合支所地域事業 [赤坂協働推進課]		36,669	
高輪地区総合支所地域事業 [高輪管理課、高輪協働推進課、高輪区民課]		44,760	
芝浦港南地区総合支所地域事業 [芝浦港南協働推進課、芝浦港南区民課]		43,023	
(仮称)虎ノ門三丁目集会室管理運営 [芝管理課] 【新規】		2,435	
(仮称)港南区民協働スペース管理運営 [芝浦港南管理課] 【新規】		989	
新橋六丁目公共施設建設 [芝管理課] 【臨継】		278,963	
旧飯倉小学校跡地活用施設整備 [麻布管理課] 【臨継】		261,100	
台場の新規地域交通の運行 [土木課] 【臨継】		34,971	
麻布区民協働スペース管理運営 [麻布管理課] 【レベル】		2,064	
(3) 文化・スポーツに親しむ環境の創出	8事業	174,266	
文化芸術のちから集中プログラム [地域振興課] 【新規】		5,150	P53 ～
国際文化紹介事業 [地域振興課] 【新規】		1,044	
芝浦協働会館維持補修等 [芝浦港南協働推進課] 【臨新】		9,733	
文化芸術振興プラン策定 [地域振興課] 【臨新】		5,796	
国民体育大会の準備 [生涯学習推進課] 【臨継】		31,988	
麻布図書館等改築 [図書・文化財課] 【臨継】		104,294	
旧国立保健医療科学院整備活用 [図書・文化財課] 【臨継】		9,398	
新郷土資料館展示・運営等準備 [図書・文化財課] 【臨継】		6,863	
(4) 区民参画を推進する環境の整備	2事業	72,779	
区民の声センター運営 [区長室] 【新規】		70,451	P54 ～
区議会本会議等の生中継化 [区議会事務局] 【レベル】		2,328	

注) 臨新=臨時・新規、臨継=臨時・継続、レベル=レベルアップ

3 港区基本計画事業の着実な推進

特別区民税収入の減収という厳しい状況においても、これまで計画的に積み立ててきた基金を効果的に活用し、港区基本計画の計画事業を着実に推進することで、港区ならではの質の高い行政サービスを提供していきます。

○ 平成24年度計画事業

分野別計画及び地区版計画書の施策を、次のとおり予算化しました。

基本計画上の位置づけ		事業数	事業費	
分野別計画	Ⅰ かがやくまち	都心の活力と安全・安心・快適な暮らしを支えるまちをつくる	33事業	41億 6,800万円
		環境にやさしい都心をみなで考えつくる	13事業	1億 8,011万円
		計	46事業	43億 4,811万円
	Ⅱ にぎわうまち	地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくる	1事業	8億 2,734万円
		港区からブランド性ある産業・文化を発信する	10事業	14億 8,322万円
		計	11事業	23億 1,057万円
	Ⅲ はぐくむまち	明日の港区を支える子どもたちを育む	12事業	47億 2,151万円
		生涯を通じた心ゆたかで健康な都心居住を支援する	23事業	32億 5,397万円
		計	35事業	79億 7,548万円
地区版計画書	芝地区版計画書		12事業	3,303万円
	麻布地区版計画書		12事業	3,821万円
	赤坂地区版計画書		9事業	3,667万円
	高輪地区版計画書		12事業	4,476万円
	芝浦港南地区版計画書		13事業	4,302万円
	計		58事業	1億 9,568万円
実現をめざして	基本構想に基づく諸施策の実効性を担保する		1事業	8,756万円
	行財政改革を推進する		1事業	1億 1,861万円
	計		2事業	2億 618万円
合計		152事業	150億 3,601万円	

4 将来を見据えた財政運営

(1) 区財政の状況

歳入の根幹を成す特別区民税収入は、長引く景気低迷の影響を受け、人口の増加にもかかわらず平成 21 年度から減収傾向となり、24 年度予算においても、23 年度予算と比較して約 20 億円の減収を見込んでおり、4 年連続の減収という大変厳しい状況となっています。東日本大震災や欧州の政府債務危機などの影響により、景気の先行きが依然として不透明であることから、特別区民税収入は今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

現在の区財政の状況は、経常収支比率をはじめ、財政健全化法に基づく健全化判断比率など各財政指標が良好な数値を示しており、健全な状況を維持していますが、22 年度の経常収支比率は、特別区民税収入の大幅な減収や生活保護費の増加等に伴い、21 年度と比較して 8.8 ポイントも悪化しており、今後、安定した財政運営を行うに当たっては、より一層行財政改革に取り組んでいく必要があります。

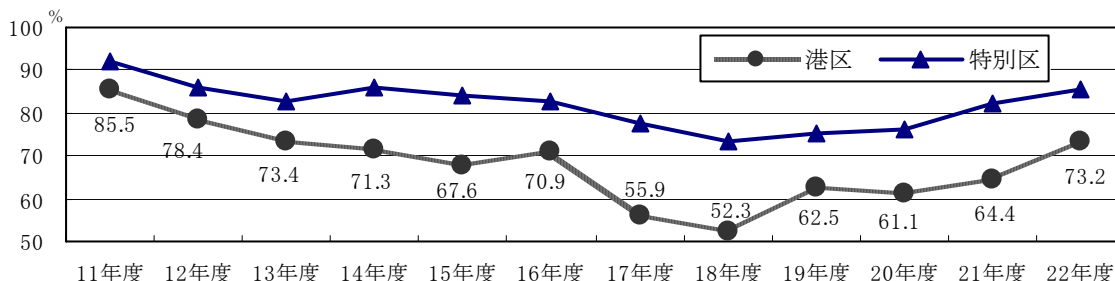
このような状況の中、24 年度予算編成においては、新たに策定した港区財政運営方針のもと、新規及びレベルアップ事業については、必要性・効率性・効果を十分に見極めた上で予算化するとともに、既存事業についても、事業の統廃合等により再構築を進めました。また、人件費の圧縮や経常的経費の節減等に積極的に取り組むなど、内部努力を徹底しました。

今後も、港区財政運営方針に掲げている 3 つの基本方針のもと、「次世代に過度な負担を残さない取組」、「自主財源の積極的な確保」、「効率的・効果的な予算編成手法の確立」、「不断の内部努力の徹底」、「区財政に関する情報の提供と活用」の 5 つの具体的取組を実施し、区民の誰もが将来にわたって安心できる財政運営を行い、磐石な財政基盤を確立していきます。

○ 経常収支比率の推移

経常収支比率は財政の弾力性をあらわす指標であり、一般的に 70～80% が適正な水準といわれていますが、この数値が低いほど弾力性があり、新たな区民ニーズに対応するための財源があることとなります。

区の経常収支比率は、平成 12 年度から良好な状況を維持し続けていますが、22 年度においては、特別区民税収入の大幅な減収や生活保護費の増加等に伴い、21 年度と比較して 8.8 ポイントも悪化しています。



○ 健全化判断比率の状況

健全化判断比率には、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の 4 種類があります。比率が負の値となる場合は、「-」と表記していますが、実質公債費比率については比率が負の値でも算定値として表記しています。

平成 22 年度の健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を大きく下回っており、財政状況は健全な状況にあるといえます。

(単位:%)

区 分		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
港 区	22年度	— (△ 6.95)	— (△ 7.99)	△ 0.5	— (△ 201.5)
	21年度	— (△ 11.43)	— (△ 12.14)	△ 0.1	— (△ 175.8)
早期健全化基準		11.25	16.25	25.0	350.0
財政再生基準		20.00	35.00	35.0	—

※ () 内の比率は、算出した比率を実数で表したものです。

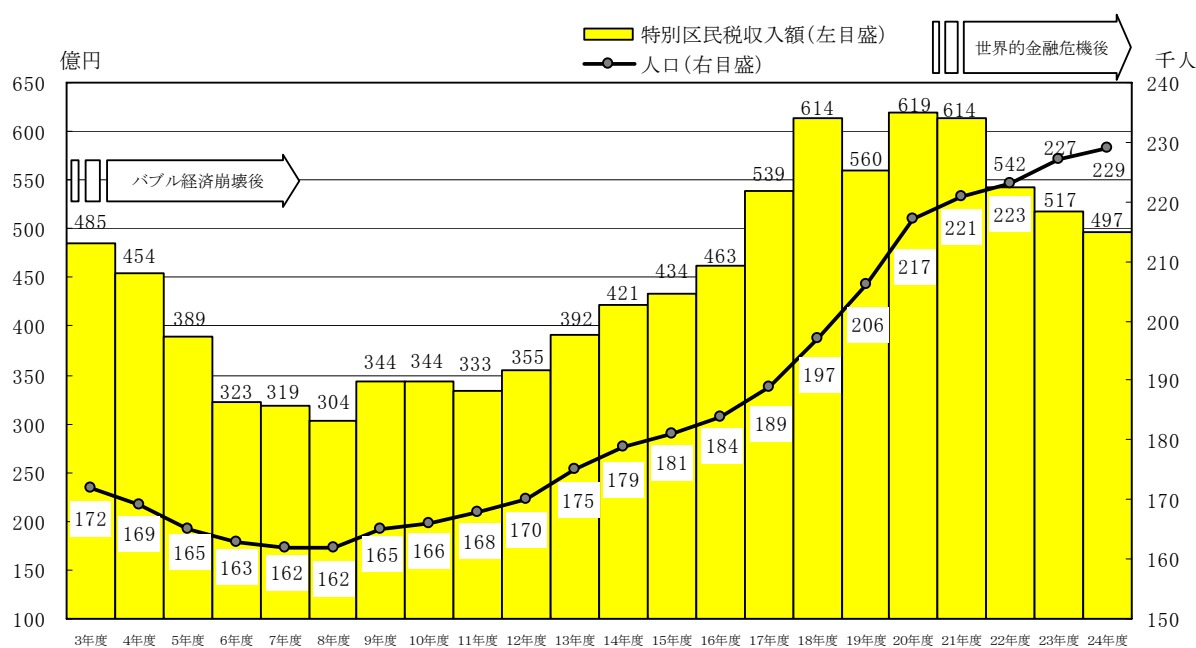
※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率に係る早期健全化基準は、各地方公共団体の標準財政規模により異なります。

○ 特別区民税収入の推移と今後の財政運営

区の歳入の根幹を成す特別区民税収入は、平成 20 年秋に起こった世界的な金融危機以来低迷する景気の影響を受け、21 年度以降は、人口の増加にもかかわらず減収となっており、バブル経済崩壊後以来の大変厳しい状況が続いています。

24 年度当初予算においては、23 年度当初予算と比較して約 20 億円、3.8%の減収と見込んでおり、4 年連続減収の厳しい状況となっています。

東日本大震災や欧州の政府債務危機などの影響により、先行き不透明な景気の動向を踏まえ、今後の財政運営に当たっては、新たに策定した港区財政運営方針のもと、不断に行財政改革に取り組むとともに、簡素で効率的な区政運営を行い、施設建設に当たっては、ライフサイクルコストを的確に分析した上で後年度負担にも十分に配慮するなど、区民の誰もが将来にわたって安心できる財政運営を行い、磐石な財政基盤を確立していきます。



※特別区民税収入は、平成 3～22 年度は決算額、23～24 年度は当初予算額です。

※特別区民税は、当該年度の初日が属する年の 1 月 1 日に港区に住所を有する区民が港区に納税することから、人口は各年 1 月 1 日現在数で外国人登録者を含んだ数を掲載しています。(例えば、24 年度は 24 年 1 月 1 日現在数)

(2) 財政計画の策定

区では、平成 24 年 1 月に港区基本計画（後期：平成 24 年度～平成 26 年度）を策定しました。

基本計画の実効性を高めるとともに、より一層簡素で効率的な区政運営を計画的に行っていくため、新たな財政計画（平成 24 年度～平成 26 年度）を策定しました。

○ 財政計画表

(単位：百万円)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計 (平成24～26年度)
歳入総額	103,550	129,456	117,036	350,041
一般財源	69,122	69,372	71,895	210,389
特別区税	54,888	55,138	57,661	167,687
特別区交付金	1,200	1,200	1,200	3,600
その他	13,034	13,034	13,034	39,102
特定財源	34,428	60,084	45,141	139,652
国庫支出金	9,030	8,952	8,910	26,892
都支出金	4,228	4,455	4,168	12,851
特別区債	0	8,000	4,000	12,000
その他	21,170	38,677	28,062	87,909
歳出総額	103,550	129,456	117,036	350,041
義務的経費	39,480	39,496	39,626	118,601
人件費	21,045	20,624	20,219	61,888
扶助費	16,964	17,402	17,837	52,203
公債費	1,470	1,470	1,571	4,511
基本計画事業費	15,036	37,074	24,767	76,876
分野別計画事業費	14,840	36,876	24,562	76,278
地区版計画書事業費	196	198	205	598
その他経費	49,034	52,886	52,643	154,563

○ 次世代に過度な負担を残さない中長期的視点に立った財政計画

我が国の景気動向は、東日本大震災や欧州の政府債務危機などの影響により、依然として厳しく、先行きも不透明な状況にあります。今後の特別区民税収入は減収傾向が続きこれまで以上に厳しい状況になることが予想されます。

このような状況の中で、特別区民税収入は人口の増加にもかかわらず、減収となっていることを踏まえ、社会経済状況を的確に反映する方法により推計するとともに、新たな財政運営方針のもと、基金については、平成 26 年度末における財政調整基金の残高を、標準財政規模の 40%程度確保した上で効果的に活用することとし、区債についても、公債費比率を 3%以内に維持することを前提に活用するなど、次世代に過度な負担を残さない中長期的視点に立った財政計画を定めました。

(3) 基金の有効活用

区財政は、長引く景気の低迷や、東日本大震災の影響などにより、区の歳入の根幹を成す特別区民税収入が4年連続の減収になるという厳しい状況にあります。

このような中、これまで計画的に積み立ててきた基金をその設置目的に基づき効果的に活用していきます。特に、東日本大震災を教訓とし、区民の安全・安心の確保を最優先とする観点から、震災対策基金や安全安心施設対策基金の活用を積極的に図っていきます。

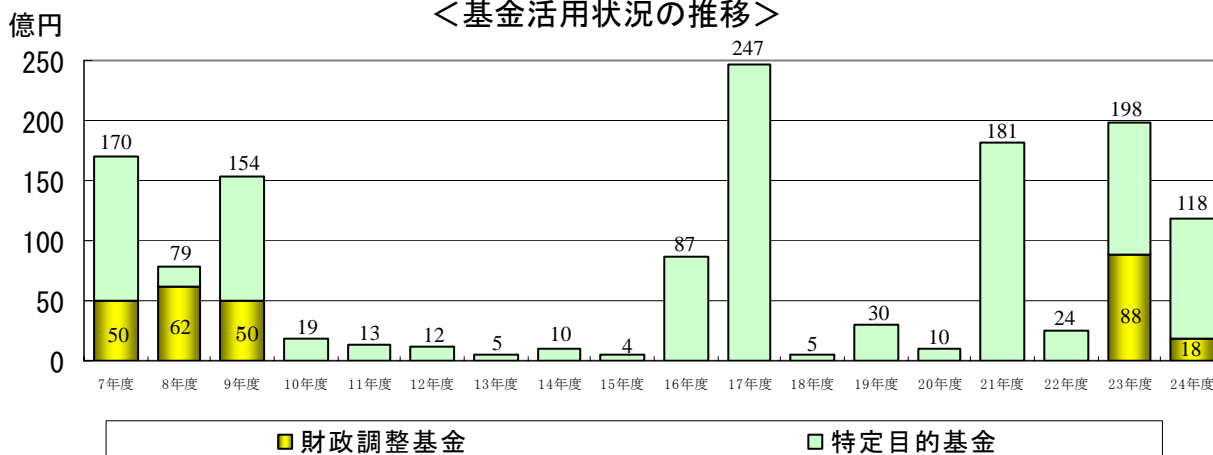
24年度予算においては、公共施設等整備基金をはじめとした特定目的基金100億円を、さらに財政調整基金については、18億円の合計118億円の基金の活用を図っていきます。

<平成24年度基金活用状況>

区 分	基金充当事業	繰入額	
財 政 調 整 基 金	—	18億円	
特 定 目 的 基 金	公 共 施 設 等 整 備 基 金	子ども中高生プラザ等建設（神明・港南）など	70億円
	震 災 対 策 基 金	都市計画公園整備、夕風橋架替など	11億円
	安全安心施設対策基金	学校施設改修（小・中）、区営住宅維持管理など	5億円
	教育施設整備基金	朝日中学校通学区小中一貫教育校建設など	5億円
	定住促進基金	シティハイツ芝浦建替、コミュニティバス運行など	4億円
	地球温暖化等対策基金	新エネルギー・省エネルギー機器等助成事業など	3億円
	そ の 他 の 基 金	介護予防プロジェクト、文化芸術活動助成など	2億円
合 計		118億円	

※ 財政調整基金は、経済状況の著しい変動等による年度間の財源の著しい増減を調整し、長期的視点から財政の健全な運営を図ることを目的とする基金です。

<基金活用状況の推移>



※ 基金活用状況の推移は、平成7～22年度は決算額、23～24年度は当初予算額です。

※ 平成17年度については、仮称南麻布四丁目高齢者保健福祉施設等用地及び仮称高輪子ども中高生プラザ用地購入のため、公共施設等整備基金（207億円）を繰入れています。